

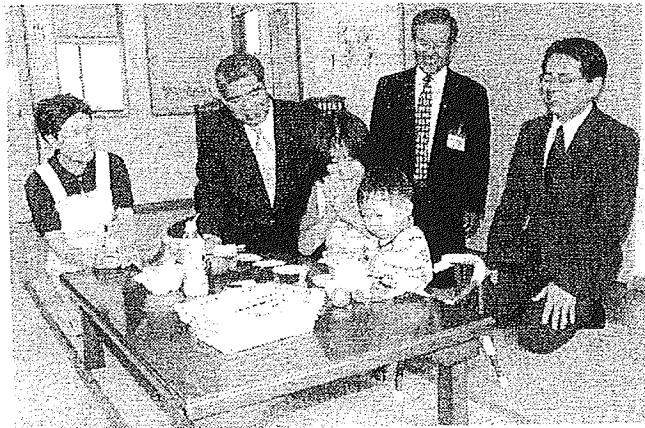
安心して預けられます

病氣回復期の乳幼児

対象に一時保育施設

福岡県前原市

福岡県前原市の糸島医師会病院敷地内に開設した病氣回復期の乳幼児を一時的に預かる「病後児保育コア」が、働きのがら子育てをしている保護者に喜ばれている。6月25日、同市議会公明党



病後児保育の状況を視察する成吉（左から2人目）、笹栗の両市議

の成吉大二、笹栗純夫の両議員が利用状況を視察した。

この施設は、前原市、二丈町、志摩町が社団法人・糸島医師会に運営を委託して、今年4月にオープンした。木造平屋建て、延べ床面積65・41平方メートル。保育室、感染症用の観察室などからなり、建物は前原市が建設した。

対象は、生後3カ月の乳児から小学校低学年まで。病氣回復期のため集団保育が困難な上、保護者が勤務などの理由で育児ができない家庭のために設置された。

月曜から金曜の午前8時から午後5時30分まで預かる。定員は1日6人。使用料は日額1人2000円（2人目以降は1000円）。

施設利用は、行政窓口への事前登録と、かかりつけ医師の許可を得ることが必要。施設には看護師1人が常駐、乳幼児の状況に合わせて保育士（6人登録）が派遣される。

事前登録は1市2町で294人。6月25日現在、37人が利用している。

病後児保育所の設置については、公明党糸島支部が2001年4月、春田整秀・前原市長に1149人の署名を携え陳情。成吉市議も糸島医師会と粘り強く折衝してきた。

この日は、感染症を患った4歳の女の子と、口内炎の1歳の男の子が利用。成吉、笹栗の両市議は、幼児に温かく声を掛ける一方、看護師の橋本ムツ子さんから利用状況について話を聞いた。